

教職実践演習

平成23年11月25日(金)

「いじめ、不登校等への対応について」

- 1 「スペース・イオの紹介」
- 2 いじめ・不登校について(「生徒指導提要より」)
- 3 演習
- 4 まとめ

秋田明德館高等学校 スペース・イオ
新目 敏子

スペース・イオとは

- 平成17年、秋田明德館高等学校内に設置
- 不登校状態にある児童生徒の公的な支援機関
- 小・中学生、•中卒業生が対象
- 居場所と学習支援(通所・IT学習・両者併用)

平成23年度入所児童生徒の内訳

平成23年11月18日現在

| | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | 中卒 | 計 |
|---|----|----|----|----|----|----|
| 男 | 1 | 2 | 13 | 19 | 3 | 38 |
| 女 | 0 | 2 | 13 | 19 | 0 | 34 |
| 計 | 1 | 4 | 26 | 38 | 3 | 72 |

・中学3年生が53%

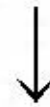
平成22年度
 中学3年生、中卒者の進路決定状況
 (43人中)

| 明德館高等学校 | | 公立高 | 私立高 含NHK学園 | 通信制サ ポート校 | その他 |
|---------|-----|-----|---------------|--------------|--------------|
| 定時制 | 通信制 | | | | |
| 19 | 6 | 6 | 3 | 6 | 3 (イオ継続1) |
| 25 | | | | | |
| 40 | | | | | 3 |

いじめの定義

「一定の人間関係のある者から、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的苦痛を感じているもの」

※起こった場所は学校の内外を問わない。



精神的・身体的苦痛を感じるものがいじめ。

反復、継続することで訴える意欲を奪われ
無力感に陥ってしまう。

数字からみる秋田県のいじめの状況

- 平成22年度秋田県での確認できた公立小中学校でのいじめの件数合計419件(前年度－73件)

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 前年度比 |
|-----|--------|--------|--------|------|
| 小学校 | 199 | 215 | 118 | －97 |
| 中学校 | 345 | 277 | 301 | ＋24 |
| 合計 | 544 | 492 | 419 | －73 |

本県公立小中学校におけるいじめの態様

| | 小学校 | 中学校 |
|---|--------------------|--------------------|
| 1 | 冷やかし、からかい(74) | 冷やかし、からかい (225) |
| 2 | 軽い暴力 (35) | 仲間はずれ、集団による無視 (67) |
| 3 | 仲間はずれ、集団による無視 (24) | 軽い暴力 (41) |
| 4 | パソコン等による誹謗中傷 (2) | パソコン等による誹謗中傷 (9) |

不登校とは

「年度間に連続または断続して30日以上欠席した児童生徒のうち、不登校を理由とする者のこと。不登校とは、何らかの心理的、情緒的、心理的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないまたはしたくともできない状況にあること。(ただし、病気や経済的理由によるものを除く)」

数字からみる秋田県の不登校の状況

■平成22年度秋田県公立小中不登校児童生徒数

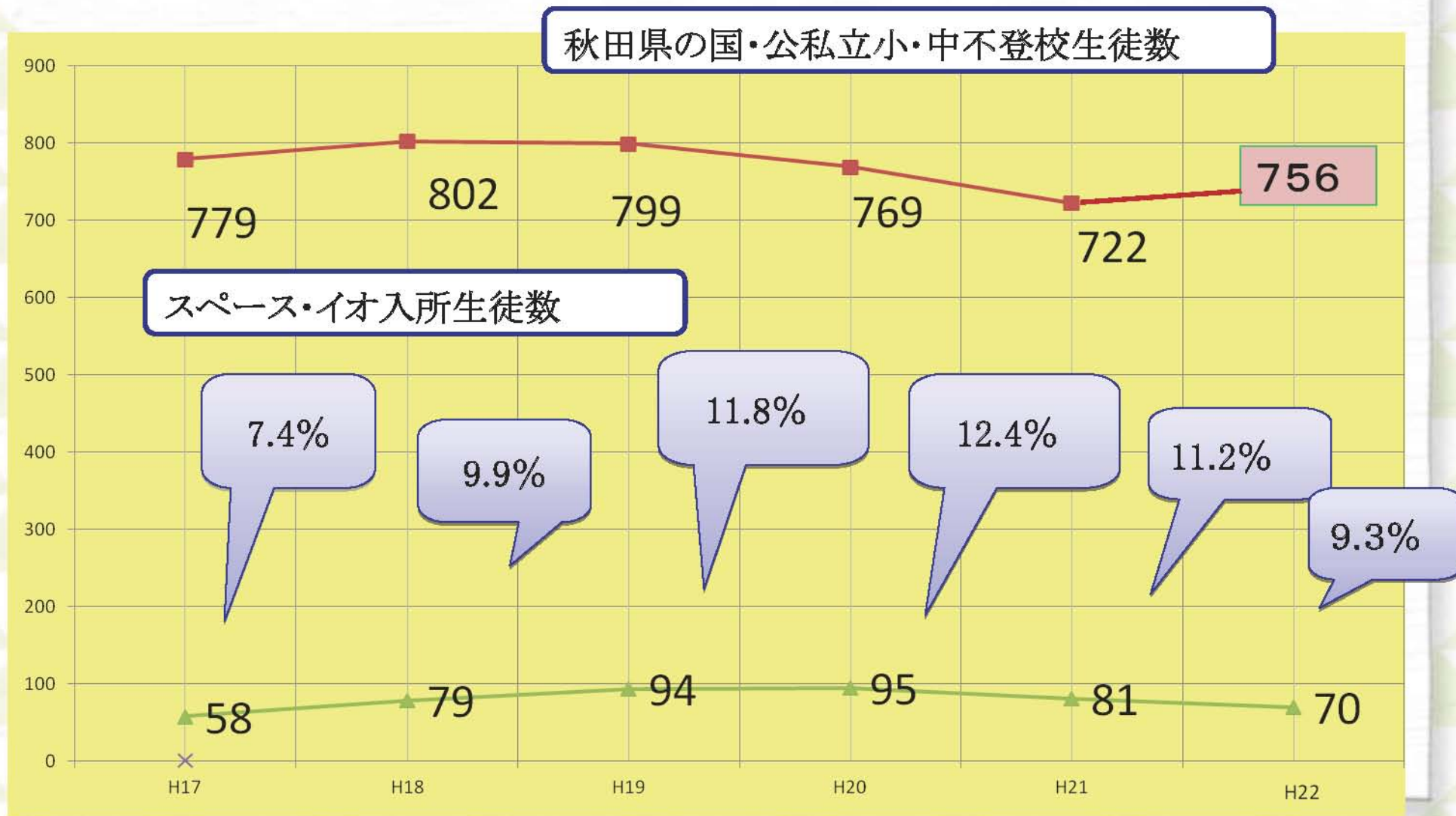
| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 前年度比 |
|-----|--------|--------|--------|------|
| 小学校 | 111 | 111 | 140 | +29 |
| 中学校 | 647 | 606 | 610 | +4 |
| 合計 | 758 | 717 | 750 | +33 |

平成22年度秋田県公立小中児童生徒数の推移

| | 平成元年度 | 平成10年度 | 平成23年度 |
|---------|----------|----------|---------|
| 学校(含分校) | 490校 | 467校 | 376校 |
| 児童生徒数 | 148,227人 | 113,378人 | 79,868人 |

※平成22年度の児童生徒数は前年度より _____ 人減少している

秋田県小・中不登校生徒数と スペース・イオ入所生徒数の推移



学校とは？

みんな

と一緒に

勉強

するところ

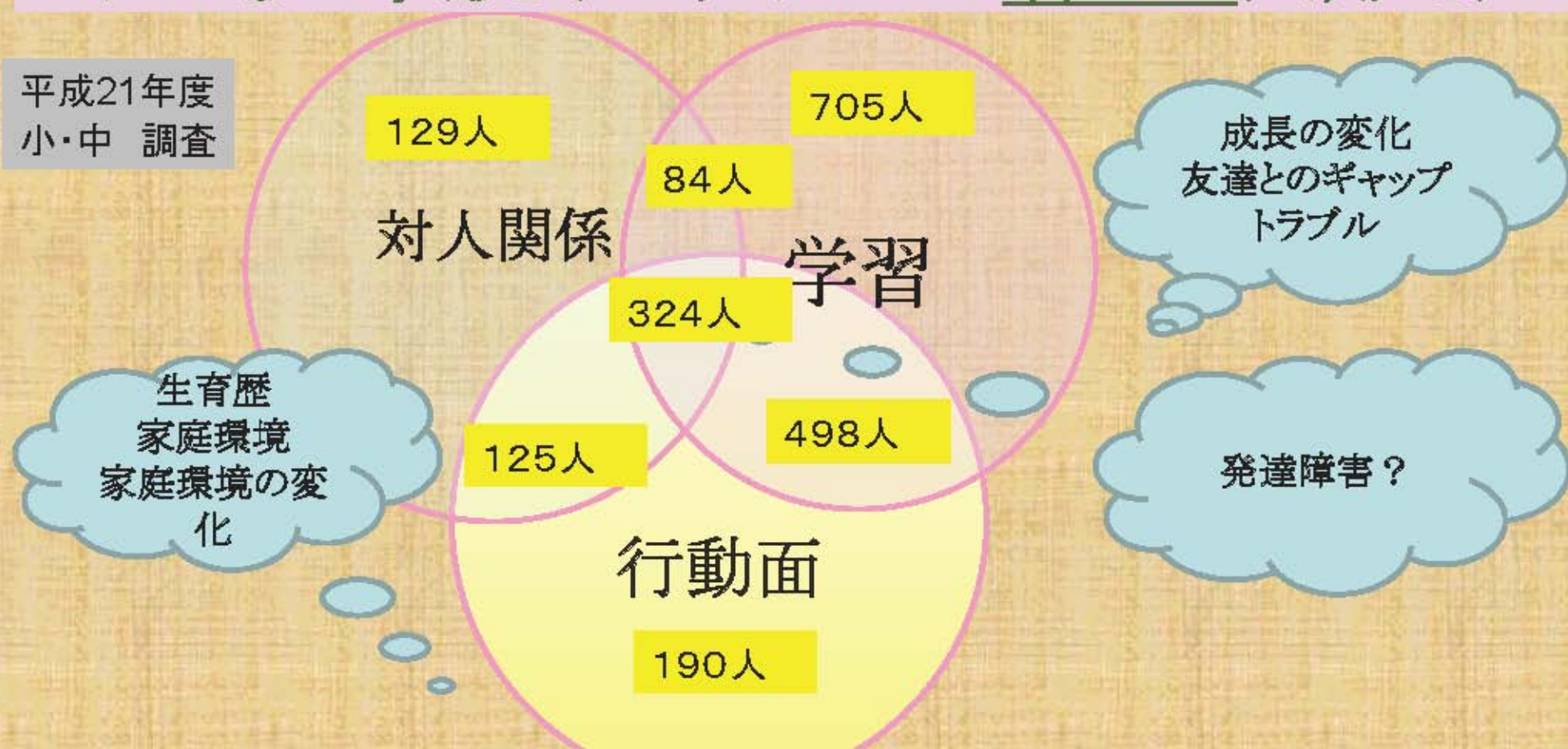
先生、友達、
部活の仲間

学校生活全般、
集団活動、
教室、行事、公共
心、規範やルール

心身の発達
学習レディネス
学習の困難さ
学習意欲
知的好奇心

子どもの状況(いずれかで著しい困難さ)

平成21年度
小・中 調査



学校教育活動そのものに課題を抱えている児童・生徒の存在。

いじめや不登校の対応～ いじめや不登校にしないために

「生徒指導提要」平成22年3月文部科学省

○生徒指導の意義

一人一人の児童生徒の健全な成長を促し、児童生徒自ら現在及び将来における自己実現を図っていくための自己指導能力の育成を目指す。

※問題行動の対応だけではなく成長の支援、問題行動の予防、キャリア教育の視点から

※これからの生徒指導の指針。（「秋田県総合教育センターHP」よりダウンロード可）

○生徒指導の課題(指導要領より)

小学校

「日頃から学級経営の充実を図り、教師と児童の信頼関係及び児童相互の好ましい人間関係を育てるとともに、児童生徒理解を深め、生徒指導の充実を図ること。」(総則)

中・高等学校では、

「生徒が自主(主体)的に判断し行動し積極的に自己を生かしていくことができる。」を加える。

「児童生徒理解」

- 幼児期、児童期、青年期に至る心理的あるいは発達的な段階を適確に踏まえた児童生徒理解
- 多面的な実態把握(人、場所、場面)～普段の観察、「何事も生じていないとき」の観察
- 児童生徒の問題行動に気づくためのポイント～
学業・言動・態度・行動・身体・表現物の変化

「教師と児童・生徒の信頼関係や 児童生徒相互の好ましい人間関係」

- 教師と児童生徒（保護者）との信頼関係～日頃のふれあい、充実感・達成感を生み出す指導、「認めてくれる」存在感＝ $1/30$ ではなく $1/1$
- 望ましい人間関係作り～自他の個性を尊重し、互いの身になって相手の良さを見つけようとする集団

人間関係作りに役立つ手法

- ◆グループエンカウンター
- ◆ソーシャルスキルトレーニング
- ◆アサーショントレーニング
- ◆アンガーマネジメント
- ◆ストレスマネジメント教育
- ◆ライフスキルトレーニング
- ◆キャリアカウンセリング

演習

- 1 エンカウンター 「エゴグラム」
自分自身の対人関係の特徴を知ろう
- 2 アサーショントレーニング
他者との関係を円滑にする **さわやかな**
自己表現(自己主張)

学級経営の充実(学校生活の基盤)

学校教育活動そのものに苦手さを示す児童生徒
たちがいることを前提に始める学級経営

○安心・安全な居場所

○心のエネルギーを充足する場

○社会的な能力獲得の場

○特別支援教育の視点からのユニバーサルな授
業作り



活動意欲・学習意欲

自主(主体)的に判断し行動し積極的に自己を
生かしていく = 「自己指導能力」の育成

- 自発性・自主性・自律性・主体性を育てるための
場や機会の設定
- 自己決定と参加・役割・責任感
- 教員の適切なかかわり

まとめ

- 「教育(子育て)は、自分自身の子ども時代を生き直すこと」 ~ 自分の生き方が問われる

臨床児童精神医学研究所所長 山崎晃資先生

- 目指す教師像を・・・

深く
豊かに
温かく

秋田の温泉

指導力

専門性

人間性